

水稲 トビイロウンカの発生に注意

奈良県農業協同組合

奈良県病害虫防除所より令和3年5月26日付けで、水稲トビイロウンカ（秋ウンカ）の注意報が発表されました。

対象地域は県内全域、発生時期は早く、発生量は多いとされています。

昨年秋、トビイロウンカが大発生し、西日本において大きな被害が発生しました。奈良県においても平坦地域を中心に坪枯れが発生し、かつてなかった激しい被害が発生しました。

今年は、昨年より約1か月飛来が早く発生量も例年に比べて多いとのことから、中山間地域での被害も懸念されます。

今後の防除注意事項をまとめましたので、参考のうえ対応をお願いします。



▶中山間地域（5月田植え）

第1世代若齢幼虫期は6月中旬と予測されます。トリフルメゾピリムを含む箱施用剤（フルスロツトル粒剤、スクラム粒剤、ブーンゼクテラ粒剤等）を使用されていない方は6月中旬に下記の防除をお願いします。7月以降の防除については、今後の発生状況をふまえて情報提供いたします。

▶平坦地域（6月田植え）

田植え期以降も飛来が続くと予想されます。効果の長いトリフルメゾピリムを含有する箱施用剤（フルスロツトル粒剤、スクラム粒剤）をご使用下さい。

トリフルメゾピリムを含む箱施用剤を使用されなかった場合は、ウンカの発生状況により7月防除が必要になる可能性があります。今後の情報にご注意下さい。

▶本田防除薬剤を選定いたしましたので、いずれかの薬剤での防除をお願いします。

防除薬剤名	使用量 (10aあたり)	使用時期・ 使用回数	規格	農家渡し価格 (円/税込み)	備考
スタークル粒剤	3kg	収穫7日前まで・ 3回	3kg	3,366	体ノコバシ・コメ イカリ同時防除
スタークル豆つぶ	250~500g	収穫7日前まで・ 3回	250g	3,630	
トレボン粒剤	2~3kg	収穫21日前まで・ 3回	2kg	1,760	体ノコバシ・コメ イカリ同時防除

※ご相談はお近くのJAならけん営農経済センターまで

(令和3年5月26日作成)